

# 非常災害対策計画

ワーカーズコープ

放課後等デイサービス ワーカーズコープ ぼっけ

2018.9 策定

2019.3 改訂

2020.2 改訂

## 非常災害対策計画

### 1. 計画の適用施設名、所在地等

施設名	放課後等デイサービス ワーカーズコープ ぽっけ		
所在地	苫小牧市弥生町 2 丁目 5 番 4 号		
電話番号	0144-84-3856	FAX 番号	0144-84-3857
メールアドレス	pokke@roukyou.gr.jp		

### 2. 計画の目的

この計画は、次の非常災害における「放課後等デイサービス ワーカーズコープ ぽっけ」の利用者の円滑かつ迅速な非難の確保を図ることを目的とする。

- (1) 火災
- (2) 地震
- (3) 風水害（洪水、内水、高潮）
- (4) 津波被害
- (5) 火山災害
- (6) その他災害による安全確保が必要な事項

### 3. 計画の報告

次に該当する計画を作成または、必要に応じて見直し・修正した時は、遅滞なく当該計画を苫小牧市へ報告する。

また、火災に係る計画（消防計画）については、消防法施行規則第 3 条に基づき、消防署長へ届出を行う。

- (1) 風水害（洪水、内水、高潮）：水防法第 15 条の 3 第 1 項に基づく計画
- (2) 津波被害：津波防災地域づくりに関する法律第 71 条第 1 項に基づく計画
- (3) 火山災害：活動火山対策特別措置法第 8 条に基づく計画

### 4. 施設の立地条件

(1) 苫小牧市市民生活部危機管理室（以下「危機管理室」という）が作成しているハザードマップ等により立地条件を確認すること。

(2) 危機管理室が作成している自然災害・耐火・その他特異災害記録等により周辺地区の過去の災害発生状況を把握すること。

(3) 危機管理室が作成しているまちごとハザードマップ等により発生し得る可能性のある災害を確認すること。

(4) 災害危険区域等の該当の有無

災害種類	災害危険区域等の種類	該当
水 害	洪水浸水想定区域	○
土砂災害	土砂災害警戒区域（特別警戒区域を含む）他	
津波災害	津波災害警戒区域（特別警戒区域を含む）	○
火山災害	火山災害警戒地域	○
原子力災害	原子力災害対策重点区域	

(4) 上記の立地条件から予測される災害の危険性

- イ 苫小牧川の氾濫洪水
- ロ 津波浸水
- ハ 樽前山大規模噴火

5. 施設等の構造・設備

項目	場所・個数等	内容	状態確認年月日
構造・築年月日	木造亜鉛メッキ鋼板葺き2階建て 昭和37年11月10日新築		
耐震状況		耐震診断無	
階段及び周辺状況	玄関前に1カ所	障害物なし	2020.2
非常口設置状況	南向きベランダ	2重ロック	
消火設備	消火器2個	玄関1、2階事務所1 期限2023年	2020.2
水道設備	ボイラー室元栓1、洗面所元栓1、トイレ内元栓1		2020.2
暖房設備	裏口にボイラー、屋外灯油タンク、FFストーブ		2020.2
電気設備	裏口にブレーカー	北電	2020.2
ガス設備	台所、裏口ボイラー	(株) マツネン	2020.2

6. 災害に関する情報の入手方法

(1) 苫小牧市から発令される避難情報

発令情報	入手方法
<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難準備・高齢者等避難開始</li> <li>・避難勧告</li> <li>・避難指示（緊急）</li> </ul>	苫小牧市防災行政無線（屋外スピーカー）、苫小牧市防災メール、苫小牧市テレホンサービス、苫小牧市防災情報サイト、Jアラート、SNS、警察、近隣住民等の声掛けなど

(2) 気象・地震・津波・火山情報

Jアラート、気象庁、室蘭地方気象台ホームページ、北海道防災情報ホームページ

(3) 河川情報（雨量・水位等）

国土交通省「川の防災情報」


7. 災害時の連絡先及び通信手段の確認

(1) 関係機関緊急連絡先

区分		
行政機関	苫小牧市	[Redacted]
	北海道	
	消防	
	警察	
ライフライン	電気	
	ガス	
	水道	
	インターネット	
	電話	
	携帯	
	ALSOK 総合	
協力機関	弥生連合 町内会	
	自主防災組	
	協力医療 機関	
	協力福祉 施設	
	教育委員会	
取引先	設備関係	
	車輛関係	

(2) 職員の連絡先

役職名	氏名	住所	通常時の 通勤時間	困難時の 通勤時間
		携帯電話（固定電話）		
		メールアドレス		
管理者				
児童指導員				
”				
児童発達支援管理責任者				
支援員				
支援員				
支援員				
支援員				



※通信制限が掛かる場合は、公衆電話を使用。

※伝言ダイヤル利用方法

171をダイヤルし、音声ガイダンスに沿って、操作すると、電話番号に対し、音声メッセージを録音して預ける（預けられたメッセージを再生して聞く）ことができます。

(3) 利用者緊急連絡先一覧

	ご本人情報			緊急連絡先情報		
	受給者証番号	氏名	生年月日	氏名	続柄	電話番号
1						
2						
3						
4						
5						
6						
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
21						
22						
23						
24						
25						
26						
27						
28						
29						
30						
31						
32						

33	
34	
35	
36	
37	
38	
39	
40	
42	
43	
44	
45	

## 8. 避難を開始する時期、判断基準

### (1) 避難開始時期の判断基準

- イ 避難準備・高齢者等避難開始が発令されたら、直ちに避難を開始する。
- ロ 震度3以上の地震が発生した時。

### (2) 放課後等デイサービスにおける災害発生の恐れがある場合の対応基準

- イ 各種警報が発表され、苫小牧市教育委員会が臨時休校を決定した際は、サービス提供を中止する。
- ロ 各種注意報が発表された場合であって、併せて警報発表の可能性が高いと発表されている場合においても、サービス提供を中止する。
- ハ 各種注意報が発表された際、場合によってはサービス提供時間を短縮して営業する。
- ニ 各種災害の後、当施設の安全確保に不安が残る場合は、サービス提供を中止する。

## 9. 避難場所

	避難場所	所要時間	距離
地震	苫小牧西高校	徒歩13分	400M
津波	弥生団地(ななかまど13)3~14階の階段	徒歩1分	90M
火災	西弥生公園	徒歩30秒	10M
水害	苫小牧西高校	徒歩13分	400M
噴火	沼ノ端コミュニティセンター	車20分	10Km



## 10. 避難経路

### (1) ぼっけ施設内及びぼっけ近隣屋外に居る際

マルベリーを曲がり、大成大通りをまっすぐ進み、デージーフラワー 苫小牧ホールの交差点を渡る。

### (2) 車でぼっけから離れた公園等に行っている場合

ぼっけに連絡。もしくは避難先、避難経路を確認のうえ、状況判断。

イ 緑ヶ丘公園…苫小牧東高校

ロ 金太郎の池…苫小牧東高校

ハ 科学センター…苫小牧東小学校、苫小牧市役所（津波時）

ニ タコ公園…光洋中学校、青葉団地（津波時）

ホ 北星公園…苫小牧駒澤大学、津波時は高台へ

ヘ キラキラ公園…苫小牧埠頭株式会社 本社社屋

## 11. 避難方法

地震、津波、火災、水害に関しては、現在、利用者全員が徒歩による避難可能。

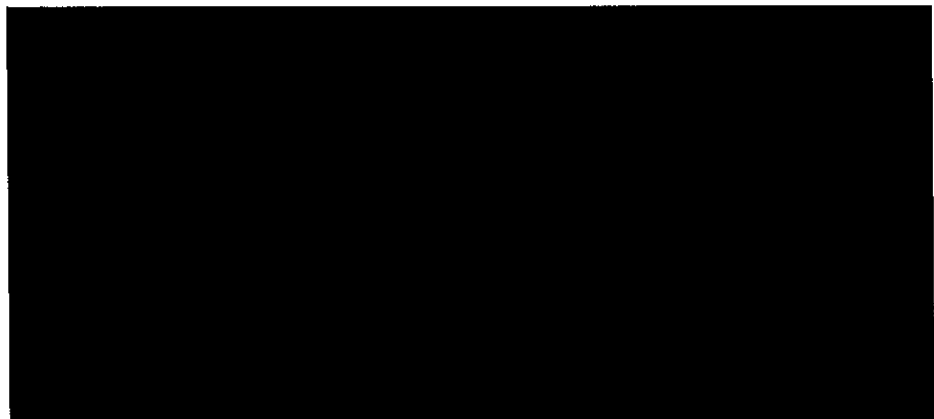
噴火の際は、ぼっけ車輛 3 台使用。 帰りの送りメンバーで乗車。お迎え組は忘れずに 3 台に振ること。

## 12. 災害時の人員体制、指揮系統

### (1) 役割分担

- ・ 情報連絡班
- ・ 消火班
- ・ 救護班
- ・ 避難誘導班

- ・ 応急物資班
- ・ 地域連絡班



役割分担表

統括責任者	班	担当	任務
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難行動の指揮統制（総括責任者の指揮による収集情報の各班への伝達と活動の指示）</li> <li>・気象や災害の情報収集</li> <li>・職員への連絡、職員や職員家族の安否確認</li> <li>・関係者、関係機関、協力者との連絡調整</li> <li>・利用者家族への連絡</li> <li>・避難状況のとりまとめ</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・火元の点検、ガス漏れの有無を確認</li> <li>・発火の防止と発火の際の初期消火</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・負傷者の救出及び安全な場所への移動</li> <li>・応急手当及び病院などへの移送</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の安全確認</li> <li>・施設、設備の被害状況確認</li> <li>・利用者への状況説明</li> <li>・利用者の避難誘導</li> <li>・利用者の家族への引き渡し</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・食料、飲料水などの確保</li> <li>・炊き出し、飲料水の供給</li> </ul>
			<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民、ボランティア団体及び近隣の社会福祉施設等への救援要請と活動内容の調整</li> </ul>

(2) 職員の参集基準

- イ 統括責任者は、所長及びエリアマネージャーと連絡を取り、指示を仰ぐ。  
その他の職員は自宅待機し、常に出勤できるようにしておく。
- ロ 統括責任者は、出勤し、施設状況を確認。ライン及び連絡網を用い、組合員へその後の対応含め連絡をする。
- ハ 出勤可否連絡方法  
速やかに対応可能職員を把握するため、次の通り連絡文案を定めます。  
なお、参集できる、出来ないにかかわらず、必ず連絡すること。

連絡文1	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇です。</li> <li>今、△△に居ます。</li> <li>あと、××分で到着します。</li> </ul>	連絡文2	<ul style="list-style-type: none"> <li>〇〇です。</li> <li>△△のため参集できません。</li> <li>××で待機します。</li> </ul>
------	---	------	---

### 1 3. 関係機関との連絡体制

- (1) 地域の防災訓練への参加
- (2) 施設の避難訓練へ地域住民が参加する協力関係を構築
- (3) 地域の避難計画や消防計画と施設の避難計画を連携したものにする協議関係を確立
- (4) 自治会、自主防災組織、近隣のボランティア、学校や企業との災害時協力関係を確立
- (5) 他の施設への避難受入等に関する相互扶助の関係を構築

### 1 4. 避難・救出その他必要な訓練及び防災教育

#### (1) 避難訓練計画

別紙1の通り

#### (2) 防災教育の実施

自然災害に関する知識及び非常災害対策計画に関する研修会を開催

イ 新規採用職員向け研修 随時

ロ 全職員向け研修（合同研修や外部講師によるもの含） 年2回

### 1 5. 食料及び避難や誘導に係る非常用資器材の備蓄

#### (1) 食料及び非常用資器材等

	品名	数量	保管場所
食料等	水		
	米		
	非常食		
	カセットコンロ	1	1階物置
	ポリ容器等(飲料水)	1	風呂場
情報機器	ラジオ	2	大部屋・持ち出しリュック
	メガホン	4	風呂場
	携帯電話	2	事務室
照明	懐中電灯	4	事務室①・玄関①・大部屋②
	電池		事務室
暖房資器材	石油ストーブ	2	本部屋①・2階事務室①
	灯油	2	(ポリ容器) 風呂場
	携帯カイロ	10	持ち出しリュック
	新聞紙		洗面所・持ち出しリュック
	チャッカマン	1	持ち出しリュック

作業 機材	スコップ	1	外物置
	ノコギリ、クギ	1	小部屋物置
	軍手、長靴	5/5	玄関

(2) 非常用持ち出し備品

備品等	筆記用具	1	持ち出しリュック
	笛	1	持ち出しリュック
	ナイフ	1	持ち出しリュック
	ガムテープ	1	持ち出しリュック
	ビニルシート	3	小②・中①持ち出しリュック
	毛布	1	ひざ掛け 持ち出しリュック
	ヘルメット	2	持ち出しリュック①・1階物置前壁かけ①
	スズランテープ	1	持ち出しリュック
	ビニール袋	10	持ち出しリュック
	簡易トイレ	7	
	グミ (非常食)	2	
	携帯ラジオ	2	大部屋・持ち出しリュック
	ティッシュ	1	
	ウェットティッシュ	1	
	マスク	7	
	ラップ	1	
裁縫セット	1		
救急 セット	絆創膏	1	大・中・小
	消毒液	1	
	体温計	1	
	毛抜き	1	
	ピンセット	1	
	サージカルテープ	1	
	タオル	1	ハンドタオル③・中タオル①
	軍手	1	

(3) 利用者情報

イ 利用者台帳ファイル

ロ 非常災害対策計画 (持ちだし品の中に1冊、各車両に1冊ずつ分、事務所に1冊、計5冊保管)

※これらは個人情報なので、日頃の管理、非常時持ち出しの際には十分に注意すること。

## 避難訓練計画

### 1. 実施回数

年 10 回（町内会避難訓練参加回数は含まれない）

### 2. 避難訓練の参加者

組合員全員、利用児

### 3. 想定する災害の種類

火災、地震、水害、噴火

### 4. 避難場所

- |           |                         |
|-----------|-------------------------|
| (1) 地震発生時 | 西弥生公園→苫小牧西高校            |
| (2) 津波発生時 | 弥生団地（ななかまど 13）3～14 階の階段 |
| (3) 火災発生時 | 西弥生公園                   |
| (4) 水害発生時 | 苫小牧西高校                  |
| (5) 噴火    | 沼ノ端コミュニティセンター           |

### 5. 避難場所までの避難目標時間

- |           |          |     |        |
|-----------|----------|-----|--------|
| (1) 地震の場合 | 西弥生公園 3分 | 西高校 | 徒歩 20分 |
| (2) 津波の場合 |          |     | 3分     |
| (3) 火災の場合 |          |     | 3分     |
| (4) 水害の場合 |          |     | 20分    |
| (5) 噴火    |          |     | 車 40分  |

### 6. 避難訓練の内容

- (1) 避難目標時間内に迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (2) 防災マップ及び施設内の避難経路の通りに迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (3) 災害時における役割分担表の通りに迅速な対応が出来るかどうかの検証を行う。
- (4) 職員の少ない時間帯での対応を想定した訓練を実施し、迅速に避難できるかどうかの検証を行う。
- (5) 消火器を使用した初期消火の訓練を行う。
- (6) 近隣住民が参加する避難訓練を実施する。

